

山口情報芸術センター(YCAM) presents

フォルティエ × 田邊アツシ + 田邊るみ 記録映像・写真展

「A MAN ON THE BRIDGE」

橋の上で30日間踊り続けた男と街が作った夏の記憶。



Photo.Rumi Tanabe

日時：2007年1月10日(水)～2月26日(月) 10:00～20:00

会場：山口情報芸術センター ホワイエ他

映像：田邊アツシ 写真：田邊るみ

料金：無料

主催：財団法人山口市文化振興財団

協力：ケベック州政府在日事務所、Fortier-Danse Création

山口市道場門前・西門前商店街

企画制作：山口情報芸術センター



山口情報芸術センターでは、2007年1月10日(水)～2月26日(月)にかけて、市内在住の田邊アツシ、田邊るみによる記録映像・写真展を行います。これは、2006年夏に山口市内の道場門前・西門前商店街で行われたカナダ・ケベック州在住の振付家／ダンサー ポール＝アンドレ・フォルティエによる野外連続ダンス公演「30x30」の記録映像と写真をもとにした作品展です。

■野外連続ダンス公演「30x30」

この公演は、60歳を目前にしたポール＝アンドレ・フォルティエの自身の身体に対する試みで、30日間かけて野外で行われました。2006年1月にイギリス・ニューキャッセルでスタートし、フランス・ナンシー、カナダ・オタワ、日本・山口、そして彼の本拠地であるカナダ・モントリオールと4カ国5都市で150日に渡って開催。各都市の街の中で繰り広げられたのです。

山口市でのダンス公演「30x30」の舞台は、道場門前のコープ裏手にある榎野川にかかる小さな橋。6月～7月という梅雨の肌寒さから真夏の炎天下、そして台風と、気候の変化が厳しい時期にフォルティエは毎日休むことなく30分間踊りました。期間中は、この橋の隣にある2つの商店街を結ぶもうひとつの橋に”30x30カフェ”を特別に設置。立ち寄る人々がお茶を飲みながらダンスを観たり、踊った後のフォルティエと交流をしたりといった活気溢れる場となり、30日間でのべ2000人の人々が集まっていったのです。初日から30日目にかけて、フォルティエは少しずつ街へ溶け込み、またコンテンポラリーダンスをはじめて見る観客とのコミュニケーションを生み出して、多くの人々の記憶に残る時間を創出しました。

■田邊アツシ+田邊るみによる映像プロジェクト

ここでは、フォルティエ自身からの提案で、もうひとつの企画が行われていました。各地で活動する映像作家に自身の身体を”被写体”として提供し、それぞれの都市での記録を残すというものです。

田邊アツシと田邊るみは、このダンス公演にフォルティエと同じく毎日カメラを通して向かいあいました。ときには橋の下から、またときには商店街のアーケードに登って。地元の人々の温かな視線に包まれて繰り広げられた初老のダンサーの30日間にわたる実験と、街が変化していく時間の流れを、2人の視点から映し出していきます。



アーティスト プロフィール

田邊アツシ (映像作家)

1971年山口県萩市生。山口市在住。映像インスタレーション作品を制作する一方、TV-CMの演出等も手掛ける。2002年個展「私画像」展(アスピラート「switch」/防府市)を行うまた、2001年山口きらら博では、山口市館のショーための映像を制作。

田邊るみ (クリエイター)

山口市在住。約10年間の海外生活の後、故郷である山口を拠点に制作活動を始める。レンズを通して、人間の本質とは何かを追求している。

フォルティエ × 田邊アツシ+田邊るみ 記録映像・写真展

「A MAN ON THE BRIDGE」

日 時：2007年1月10日(水)～2月26日(月) 10:00～20:00

会 場：山口情報芸術センター ホワイエ他

映 像：田邊アツシ 写真：田邊るみ

料 金：無料

※期間中、ポール＝アンドレ・フォルティエと田邊アツシによるアーティストトークを予定しています。詳細は、追ってwebで告知します。

主 催：財団法人山口市文化振興財団

協 力：ケベック州政府在日事務所、Fortier-Danse Création、山口市道場門前・西門前商店街

企画制作：山口情報芸術センター

お問い合わせ：山口情報芸術センター 企画担当：岸 四元 広報担当：小滝

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7

TEL：083-901-2222 FAX：083-901-2216 E-mail：information@ycam.jp

www.ycam.jp/ mobile.ycam.jp